

千本の河津桜を台湾に寄贈

桜を南投県の観光名物にしたいと大歓迎

本誌編集部



仮植樹した桜の苗木の前で
(2月14日、南投県名間)

植物検疫に無事合格

前号でお知らせしましたように、去
る二月十四日、南投県の南に位置する
名間^{なま}というところで、育桜会と本会
は、台湾の李登輝之友会全国総会に寄
贈する河津桜千本の贈呈式と仮植樹を
行ってまいりました。

実はこの寄贈の前に、海外に植物を
持ち出すため、必ず植物検疫という厳
重な関門を通過しなければなりません
でした。

前回、育桜会と霞会館がお贈りした
とき、この植物検疫で台湾に絶対持ち
込んではいけないセンチュウ（線虫）
が発見されたため、苗木の再手配や日
程のやりくりで大変だったそうです。

もし、この植物検疫で不合格になりま
すと、千本の苗木を再手配するだけで
も一週間かかり、準備万端で待ってい
ただいている台湾側にも迷惑をかける
こととなります。私どもとしてはまさ
に受験生のような心持ちで結果を待つ
ていて、二月八日午前十一時、「無事
合格」の朗報が届けられたときは、ま
さに「サクラサク」の心境でした。

南投県の観光名物にしたい

台湾で桜の苗木を植えるためには、
一年間の隔離栽培（仮植樹）が義務付
けられていて、今回の仮植樹地は南投
県の名間苗圃です。

二月十四日午前十一時半からこの名
間苗圃で催された贈呈式には、日本か

ら育桜会の園田天光理事長や出川達
郎常務理事をはじめとする八名、本会
から柚原正敬常務理事、薛格芳理事、
吉田康子事務局員の三名、河津桜の苗
木をご提供いただいた（財）日本花の
会の技術員で、桜の植生に詳しい専門
家の小山徹氏の十二名が参加し、一
方、台湾側からは黄崑虎・李登輝之友
会全国総会総会長や黄天麟・總統府国
策顧問、南投県政府の李朝卿県知事代
理の陳財源・主任秘書など約三十名が
参加して行われました。

式典会場には千本の苗木が入ったダ
ンボール十箱が積み上げられ、そのう
ちの一箱が封切られて苗木が見え、そ
れを目にしたときには心の底から安堵
感を覚えました。

式典では陳財源・主任秘書から「桜
を大切に育て南投県の観光名物にした
い。ぜひそのときは美しい桜を見てい
ただきたい。本植樹は九九峰の予定だ
ったが、植生の関係で検討している」
と挨拶があり、黄崑虎総会長も「夢が



贈呈式で挨拶する園田理事長（右）



河津桜の苗木を取り出す黄崑虎総会長（右2）



李朝卿・南投県知事が昼食会に招待



新竹市長に記念品を贈呈する柚原常務理事（右）

あることは美しいこと。桜をぜひ観光名物に育てて欲しい」と挨拶。また園田理事長は「桜を贈るのは娘を嫁にやるような気持ち。仮植樹の会場を見て南投県の周到な準備に感動した」と挨拶。さらに柚原常務理事が「日台が力を合せて一万本の目標を達成したい」と挨拶。

式典後に仮植樹場にて黄総会長、園田理事長、陳主任秘書などによって一本だけ植樹されました。

その後、南投県政府の李朝卿県知事が主催する昼食会が開かれ、李知事も桜を大切にしていきたい旨のお話を承

りました。

なお、名間に植えられた桜の苗木は順調に育っているようで、近々、李登輝之友会全国総会から写真が送られてくる予定です。

新竹の一年生ものも見事に開花

その後、先に寄贈した河津桜が咲く新竹へ移動し、新竹市立公園や動物園内に咲く桜を見学。一年生ものの桜も見事に咲いている様子に心から感動を覚えました。また、接木にも成功したとのことで、その場所にも案内していただききました。

夜は新竹李登輝之友会主催による晩

餐会が開かれ、林政則・新竹市長も臨席、新竹を美しい町にしていたいただき感謝している旨の挨拶を賜りました。

皆様からは二百五十万円を越すご寄付をいただいていますので（五万円以上の篤志者は六十八名）、皆様の高い御志が実り、新竹と同様に南投県の桜も無事に花開いてくれることを祈りつつ帰国しました。

なお、新竹には百四十本の河津桜が植えられています。これですと、来年は「台湾花見ツアー」が組めそうですので、決まり次第ご案内いたします。台湾の方々と満開の桜を眺めつつ、おいに飲み明かしたいものです。